

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

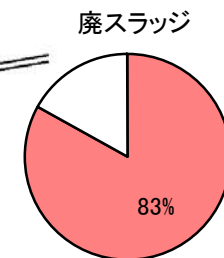
- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
  - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
  - ・処理装置(セシウム吸着装置, 第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②廃棄物発生量
  - ・除染装置停止中のため, 廃スラッジ貯蔵量は変動なし
- ③処理水タンク貯蔵量
  - ・淡水化装置(RO方式)による処理により, 処理後の淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は若干の変動あり
  - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ④5, 6号機滞留水貯蔵量
  - ・Fエリアタンクの貯蔵量は増加(4/16~ 構内散水を再開)

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

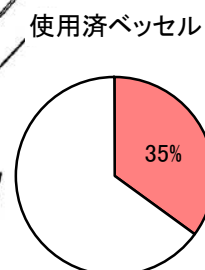
施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約14,200m <sup>3</sup>	OP.3,145
2号機	約22,700m <sup>3</sup>	OP.3,167
3号機	約24,000m <sup>3</sup>	OP.3,108
4号機	約18,800m <sup>3</sup>	OP.3,105
合計	約79,700m <sup>3</sup>	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約14,230m <sup>3</sup>	OP.3,924
高温焼却炉建屋	約4,210m <sup>3</sup>	OP.2,901
合計	約18,440m <sup>3</sup>	

②廃棄物発生量

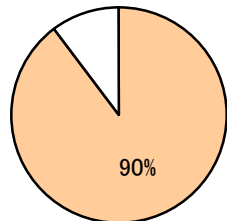


保管量:581/700[m3] ※3



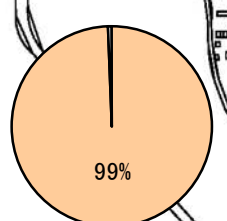
保管量:399/1137体 ※1

Fエリアタンク



水量:9700/10800[m3] ※3

メガフロート

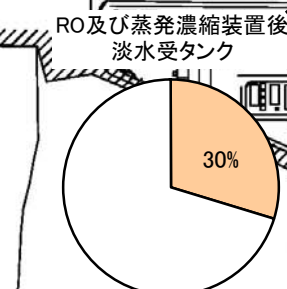


水量:7971/8000[m3] ※3

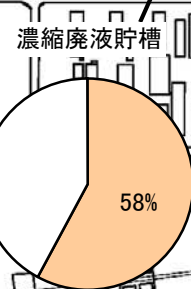
④5, 6号機滞留水貯蔵量

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセルを含む  
 ※2 装置稼動中につき水位が静定しないため参考扱い  
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す  
 (タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てして表記)

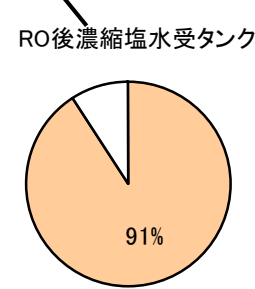
③処理水タンク貯蔵量



水量:7477/25100[m3] ※2,3



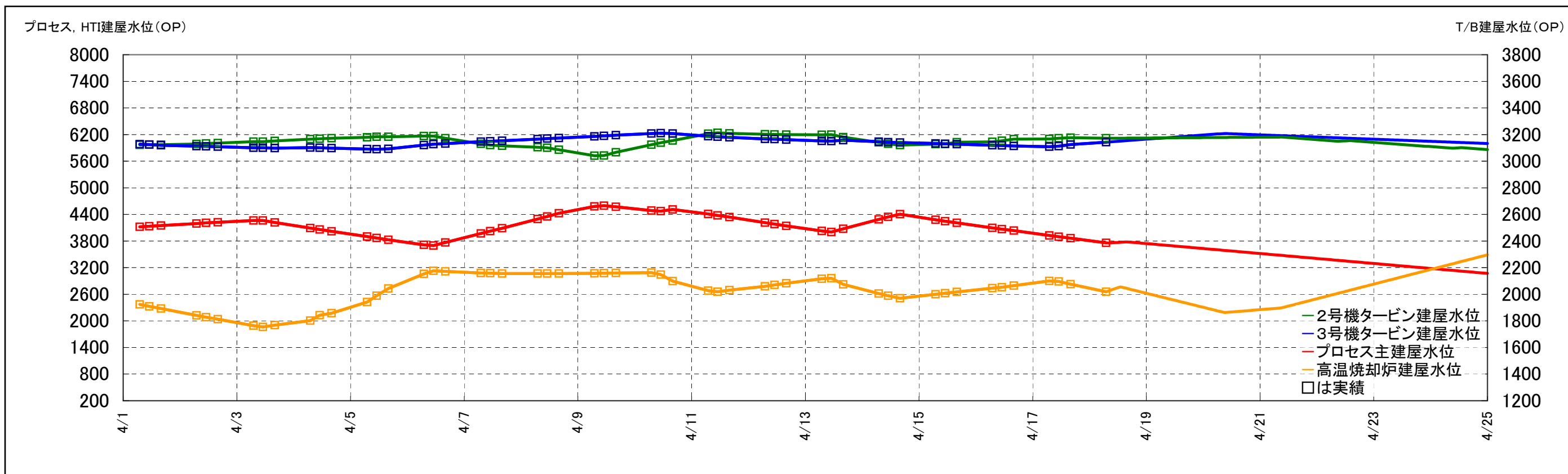
水量:5482/9500[m3] ※2,3



水量:125703/138200[m3] ※2,3

中低レベル(既設)  
 中低レベル(追設予定)  
 高レベル(既設)  
 高レベル(追設予定)  
 移送ホース布設ルート  
 淡水注水ルート

2, 3号機タービン建屋及びプロセス主建屋, 高温焼却炉建屋の水位グラフ



処理装置の稼働状況

